

新規登録者及び失効者用

様式第1号(第3条関係)

被災宅地危険度判定士登録申請書

講習会当日の日付を和暦で記入してください。

申請日

年 月 日

鹿児島県知事

殿

わたくしは、鹿児島県被災宅地危険度判定士登録要綱第2条第1項各号の一に該当し被災宅地危険度判定士養成講習会を修了したので、第3条第1項の規定により、被災宅地危険度判定士の登録を申請します。

ふりがな 申請者氏名	はんてい たろう 判定 太朗 印	生年月日	平成 5年 12月 1日
居住地住所	〒 000-0000 〇〇市□□町△△番地 電話 000 (000)0000		
勤務先	住所	〒 000-0000 ●●市■●町▲▲番地 電話 000 (000)0000	
	名称 部署	(株)〇〇コンサルタント □□部 〇〇課	

和暦で記入してください。

申請者は、次のうち、該当するいずれか一つの欄に○を付け、それぞれの番号にある書類を添付すること。

資格要件該当別	① 鹿児島県被災宅地危険度判定士登録要綱第2条第1項第1号該当宅地造成及び特定盛土等規制法施行令第22条第1項各号又は都市計画法施行規則第19条第1項第1号イからチに規定する設計者の資格を有する。	○
	② 鹿児島県被災宅地危険度判定士登録要綱第2条第1項第2号該当国又は地方公共団体等の職員(職員であった者を含む)で、国又は地方公共団体の職員として土木、建築又は宅地開発に関する技術に関して3年以上の実務経験を有する。	
	③ 鹿児島県被災宅地危険度判定士登録要綱第2条第1項第3号該当国又は地方公共団体等の職員(職員であった者を含む)で、国又は地方公共団体の職員として土木、建築又は宅地開発に係る業務に関して10年以上の実務経験を有し、知事が認める。	
	④ 鹿児島県被災宅地危険度判定士登録要綱第2条第1項第4号該当二級建築士として4年以上の実務経験を有する。	
	⑤ 鹿児島県被災宅地危険度判定士登録要綱第2条第1項第5号該当土木・建築・造園に関する一級施工管理技士の資格を有する又は二級施工管理技士として5年以上の実務経験を有する。	

①, ④, ⑤ 資格要件申告書(様式第2号)及び資格要件申告書で添付することとされている書面

②, ③ 実務経験申告書(様式第3号)

注) 氏名を自筆で記入した場合は押印の必要はありません。

①資格要件申告書(様式第2号)、②様式第2号の裏面に記載されている添付書類(卒業証明書等、実務経験証明書(様式第2号の2))を併せて添付してください。

写真
(2枚のうち
1枚を貼る)

登録

※この欄は記入しないでください。

「被災宅地危険度判定士登録申請書」記入上の注意

- 1 この申請書は、被災宅地危険度判定士として登録を受ける意思があり、資格要件を満たしている方のみ提出してください。
- 2 「登録番号」欄、「有効期限」欄以外の全ての欄に記入してください。
- 3 「申請日」には、講習会の開催日を記入してください。
- 4 この登録申請書には、あなたの資格要件によりそれぞれ定められた添付すべき書類がありますので御注意ください。
- 5 各欄の記入手順
この申請書に記入する内容は、下記に注意し誤りがないように記入してください。
 - (1) 「申請者氏名」欄には、運転免許証等の公的な証明書で確認することができるあなたの氏名を楷書で判読できるように記入し、ふりがなを付けてください。
 - (2) 「居住地住所」欄には、住民登録等の有無に関係なく、現在あなたが日常生活の本拠としている住所(通常、生活の場としている、連絡のとることができる所)を記入してください。「電話番号」は、最も確実に連絡がとれる番号を記入してください。
 - (3) 「勤務先」欄には、現在あなたが勤務している会社等の名称、所属部局課名と、その所在地の住所を記入してください。「電話番号」は、「居住地」欄と同様に連絡が最も確実にとれる番号を記入し、勤務先の代表番号のみ記入する等、非常時の連絡に手間がかかる可能性がある番号は避けてください。
 - (4) 「資格要件該当別」欄は、該当するいずれか一つの欄に○を付けてください。
なお、○を付ける欄により添付する申告書等の種類が異なりますので、注意してください。第2条第1項第1号該当(①の欄)、4号該当(④の欄)又は5号該当(⑤の欄)に○をつけた場合には、「資格要件 申告書」とこの「申告書」の中で添付することとされている書面を、第2条第1項第2号該当(②の欄)又は 3号該当(③の欄)に○をつけた場合には、「実務経験申告書」を添付することになります。
 - (5) 「登録番号」と「有効期限」の欄には、何も記入しないでください。

個人情報第三者提供における同意について

被災宅地危険度判定の実施や訓練にあたり、被災宅地危険度判定士の個人情報を関係団体等に提供する場合がありますので同意(下の同意欄に○)をお願いします。被災宅地危険度判定に関すること以外で第三者へ提供することはありません。

個人情報 第三者提供 の同意	☐
----------------------	-----------------------

同意をお願いします

被災宅地危険度判定士資格要件申告書

申告者住所 〇〇市□□町△△番地
申告者氏名 判定 太郎

わたくしは、鹿児島県被災宅地危険度判定士登録要綱第2条第1項第1号、4号又は5号に定める、
資格要件に下記のとおり該当することを必要書類を添えて申告します。

記

該当する資格要件

イ

※裏面から該当する要件の記号を記入する。

年 月 日

講習会当日の日付を和暦で記入してください。

鹿児島県知事

殿

申告者氏名 判定 太郎 印

注) 氏名を自筆で記入した場合は押印の必要はありません。

新規登録者及び失効者用

・所在地、商号又は名称及び代表者名を記入してください。
・証明者が異なる場合は、それぞれ別葉としてください。

記入例
(民間技術者用)

被災宅地危険度判定士実務経験証明書

和暦で記入してください。

下記の者は、(宅地開発 土木 建築 都市計画 造園)に関する技術に関し、下記のとおり実務の経験を有することに相違ないことを証明します。

各実務経験のうち、該当するものを○で囲んでください。

年 月 日
●●市■町▲▲番地
(株)○○コンサルタント
代表取締役 ○○ ○○ 印

・証明者の立場から見た、被証明者との関係を記入してください。
・被証明者が代表者の場合は、「本人」と記入してください。

証 明 者 被証明者との関係 社員 ・ 本人

記

被証明者氏名	判定 太郎	生年月日	平成 5年 12月 1日	証明期間	平成28年 4月から 令和 7年 3月まで
職 名		実務経験の内容		期 間	
主任		宅地造成工事の設計監理業務		平成28年 4月から 平成31年 3月まで	
主任		建築物、土木構造物設計管理業務		平成31年 4月から 令和 4年 3月まで	
係長		土木工事管理業務		令和 4年 4月から 令和 7年 3月まで	
				年 月から 年 月まで	
				年 月から 年 月まで	
合 計				9 年 0 か月	

被災宅地危険度判定士登録更新申請書

講習会当日の日付を和暦で記入してください。

申請日

年 月 日

鹿児島県知事

殿

わたくしは、鹿児島県被災宅地危険度判定士登録要綱第6条第2項の規定により、次のとおり被災宅地危険度判定士の登録の更新を申請します。

ふりがな 申請者氏名	はんてい たろう 判定 太朗 印	生年月日	平成 5年 12月 1日
居住地住所	〒 000-0000 〇〇市□□町△△番地 電話 000 (000) 0000		
勤務先	住所	〒 000-0000 ●●市■●町▲▲番地 電話 000 (000) 0000	
	名称 部署	(株)〇〇コンサルタント □□部 〇〇課	
現在有効な 登録	登録番号	年 月 日	
	有効期限		

和暦で記入してください。

注) 氏名を自筆で記入した場合は押印の必要はあり

登録証に記載されている内容を記入してください。

写真
(2枚のうち
1枚を貼る)

登録番号	有効期限

※この欄は記入しないでください。

個人情報の第三者提供における同意について

被災宅地危険度判定の実施や訓練にあたり、被災宅地危険度判定士の個人情報を関係団体等に提供場合がありますので同意(下の同意欄に○)をお願いします。被災宅地危険度判定に関すること以外で第三者へ提供することはありません。

個人情報
第三者提供
の同意

同意をお願いします